

サワギキョウ

Lobelia sessilifolia

キキョウ科

カテゴリー

大分県 II

環境庁 掲載なし

種
子
植
物



丘陵地から山地の池沼や湿地に生える多年草。草丈40～90cm。葉は細く先はとがり、斜上して密につく。夏から秋にかけて上部の葉のつけ根から濃紫色で柄のある花を総状につけ、花弁は深く裂けて反り返る。北方寒冷地要素の植物で、県内では北部・西部・中部地域の湿地に散在する。湿地の改変や生育環境の乾燥化、さらには人による採取もあって、生育地の減少や消滅が懸念される。

(写真：阿孫久見 文：生野喜和人)

県内分布 (英彦山・犬ヶ岳山地), 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群
分布域 北海道, 本州, 四国, 九州 (福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
台湾, 朝鮮半島, 中国・中国 (東北部), アムール, ウスリー, 東シベリア, 樺太, 千島
国立・国定公園指定植物 [阿蘇くじゅう, 瀬戸内海, 耶馬日田英彦山]